

平成 年 月 日

沖縄県知事 殿

診療施設名 \_\_\_\_\_

管理者住所 \_\_\_\_\_

管理者氏名 \_\_\_\_\_ 印

獣医療法施行規則第1条第5項の規定により次のとおりエックス線装置設置届を提出します。

1 診療施設

名 称	
開設場所	
連絡先 (TEL/FAX/E-Mail)	

2 エックス線装置の製作者名、型式、台数及び高電圧発生装置の定格出力等

製 作 社 名			
型 式			
台 数	台	台	台
製 造 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
装 置 の 種 類	固定式 可動式 ポータブル	固定式 可動式 ポータブル	固定式 可動式 ポータブル
高 電 圧 発 生 装 置 定 格 出 力	区分	管電圧/管電流/撮影時間	管電圧/管電流/撮影時間
	長時間	kV mA -	kV mA -
	短時間	kV mA sec	kV mA sec
蓄電式	kV $\mu$ F -	kV $\mu$ F -	kV $\mu$ F -
用 途	撮影 透視 治療	撮影 透視 治療	撮影 透視 治療
設 置 時 の 状 況	新品 中古品	新品 中古品	新品 中古品
設 置 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

3-1 エックス線装置及びエックス線診療室の放射線障害防止に関する構造設備及び予防措置の概要

(1) エックス線装置共通事項			
照 射 筒	有 無	有 無	有 無
照射野絞り装置	円形/矩形/その他 ( )	円形/矩形/その他 ( )	円形/矩形/その他 ( )
線管容器照射筒及び絞りの漏れ放射線量	接触可能表面からの距離5cm mGy/時間以下 線管焦点からの距離1m mGy/時間以下	接触可能表面からの距離5cm mGy/時間以下 線管焦点からの距離1m mGy/時間以下	接触可能表面からの距離5cm mGy/時間以下 線管焦点からの距離1m mGy/時間以下
総 ろ 過 量	mm 鉛ニ相当量以上	mm 鉛ニ相当量以上	mm 鉛ニ相当量以上
(2) 透視用エックス線装置			
透 視 用 画 像 モ ニ タ ー の 種 類	蛍光板 テレビモニター その他 ( )	蛍光板 テレビモニター その他 ( )	蛍光板 テレビモニター その他 ( )
警告音付タイマー	有 無	有 無	有 無
利 用 線 す い 可 動 絞 り 装 置	円形 矩形 その他 ( )	円形 矩形 その他 ( )	円形 矩形 その他 ( )
受像器接触可能表面放射線量	受像器接触表面距離10cm $\mu$ Gy/時間以下	受像器接触表面距離10cm $\mu$ Gy/時間以下	受像器接触表面距離10cm $\mu$ Gy/時間以下

透視最大受像面 3cm 超接触可能 表面放射線量	受像器接触表面距離 10cm μGy/時間以下	受像器接触表面距離 10cm μGy/時間以下	受像器接触表面距離 10cm μGy/時間以下
被照射体周囲 散乱線防護手段	有 無	有 無	有 無
(3) 撮影用エックス線装置			
可動型・携帯型及 び手術中に使用す るエックス線装置 でエックス線管焦 点及び被照射体か ら2m以上離れて 操作可能な設備	有 無 延長コード式 無線式	有 無 延長コード式 無線式	有 無 延長コード式 無線式
(4) 治療用エックス線装置			
インターロック 機能付ろ過板 保持装置	有 無	有 無	有 無

### 3-2 エックス線診療室の放射線障害防止に関する構造設備の概要

1 週間の延べ撮影枚数	枚				
1 週間の延べ透視時間	時間				
診療施設の構造等	独立家屋( 階建) 集合家屋( 階) その他( )				
	耐火構造( ) 木造 木造以外 プレハブ その他( )				
エックス線診療室の概要	エックス線診療専用室 診察室兼用室 手術室兼用室 その他( )				
診療室の 遮へい物 等の概要	区分	材 料	厚 さ	放射線防護に関する措置	
	天井				
	周囲の遮 へい物等 (壁含む)	東 側			
		西 側			
		南 側			
北 側					
出入口扉					
診療室の壁等の外側における 最大放射線量	エックス線診療専用室 エックス線診療兼用室	マイクロベ ル/1 週間以下 マイクロベ ル/1 時間以下			
標 識 の 有 無	有 無				
注 意 事 項 の 掲 示	有 無				

### 3-3 エックス線診療室における放射線障害の防止に関する予防措置の概要

管理区域	管理区域の境界に おける最大放射線量	実効線量	マイクロベ ル/3月間
	立入制限措置	遮へい物(材料等: ) 区画 白線区画 その他( )	
	標識の有無	有 無	
敷地内の 居住区域 及び敷地 の境界	人が居住する区域に おける最大放射線量	実効線量	マイクロベ ル/3月間
	敷地の境界における 最大放射線量	実効線量	マイクロベ ル/3月間
そ の 他	診療施設の見取図	(別添1)	
	エックス線診療室等の 遮へい物等の配置状況	(別添2)	

3-4 その他の放射線障害の防止に関する予防措置の概要

防護用具の保有状況	防護手袋（ 対） 防護I'の（ 着） 被カ'ド（ 個） 防護カネ（ 個） その他（ ）
エックス線診療従事者等の放射線量測定用具等の保有状況	ポケット線量計（ 個） 熱心初線量計（ 個） ガラスバッジ（ 個） その他（名称： 数量： ）
エックス線診療室等の放射線測定器の保有状況	有 無 （測定器名： 数量： ）
その他の措置（健康診断等）	

4 エックス線診療に従事する獣医師の氏名及びエックス線診療に関する経歴

氏名	年齢	エックス線診療に関する経歴

※電離放射線漏えいエックス線量測定報告書を添付